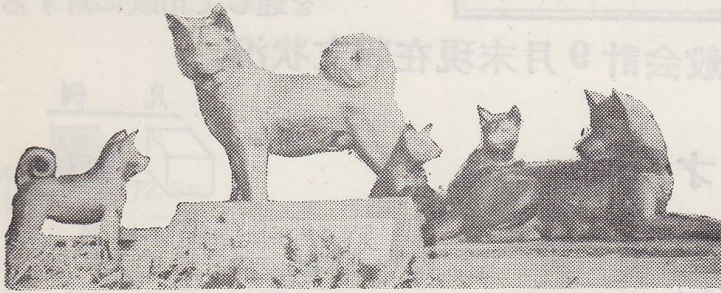


# 広報 おおだて

(1月号)

編集と発行 大館市役所



大館市の人口 62,296  
(1月1日現在) 世帯数 13,745

新年おめでとうございます。  
昭和40年、西歴1965年、さてこのところまったく使われなくなつた日本紀元では何年でしようか。今年で紀元2625年になります。ついてながら明治以来85年、大正以来では54年になります。

大館町が町村制施行とともに、自治体の基礎を確立するに至つたのは明治22年だといわれています。そして昭和26年4月、釈迦内村と合併し、人口3万56人という、いわば最低規模の新市として発足した。この小規模な当市も昭和28年と30年には一町5村を編入し、人口5万8千人という商業、交通都市として生れ変わったわけです。過去三度の大火にもめげず立派に復興し、いまでは地下資源開発も軌道にのり、産業都市としても飛躍的な発展をとげようとしております。今年も広報を通じて市民の皆さんに市の動向をくまなくお伝えし、みなさんのご意見を十分とり入れて親しみのある広報にしたいと思ひますので皆さんのご協力をお願いいたします。

## 大巾減税案議会を通過

関係記事は2面



### 市民のご協力がすべて

大館市長 佐藤 敬治



あけましておめでとうございます。  
輝かしい年、昭和40年の新春を心からお祝い申し上げます。

当市が市政施行以来13年になります。度重なる災害をみごとに克服し、現在では近代性に富んだ活気にあふれた街に成長いたしました。このことは、あの苦境当時を切り抜けた市民の皆さんの都市建設をめざす真心のこもつたご協力と、美しい郷土愛精神の賜と深く感謝いたします。

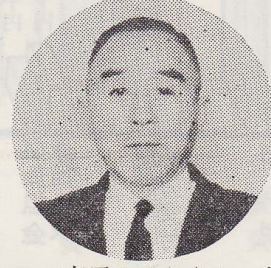
当市も一昨年の市民体育館の完成、また昨年の12月には環境衛生の一環としてのし尿処理場が完成、また、住宅難の打解として県内でもはじめにの星型アパートの完成等、やつと市民生活に身近な市政をおこなうことができました。

今年、全国的に脚光を浴びていた銅鉱床も本格的な生産に入る年でもあり、当市としにも、宅地造成、輸送問題等については近隣、三町とともに広域的な立場に立つて側面から開発に協力して参りたいと思つております。

また、今年には市民税の大巾な減税を積極的に成しとげ、かつまた、二井田、真中の統合中学校の建設、それにし尿処理場につづく、じんかい処理場の建設などにより、市民のための市政に一層の肉づけをして参りたいと思ひます。

市政担当13年の経験と、外遊して得た都市づくりを生かして、住民福祉をめざし豊かで明るい市民生活の実現のために、心を新たに市政に総力をあげて努力する決意でありますから、市民の皆さんの一層のご協力をお願いし新年のごあいさつといたします。

市民の和で  
明るい  
街づくり



大館市議会議長  
渡部 綱次

市民のみなさん、新年おめでとうございます。

顧みれば、昨年の年頭の御挨拶に、市民総参加による清潔な街作りを提唱して、生活環境の整備に努力して参りましたが、その間、釈迦内、長木地区一帯に世界有数の黒鉱床が相ついで発見され同和鉱業、日本鉱業、三菱金属の大手三社により開発に着手され、本市の産業開発や都市開発の方向を決定づけられる明るい希望を見出した年でした。

これら各社の本格的操業を目前に控え本市の市政は鉱山開発に伴う産業開発や都市計画の再編成など、今後の立市百年の大計を策定するとともに、今まで手の届かなかつた社会開発に力を注がなければならぬ年だと考えています。

しかしながらどんな構想も、計画も、市民の皆さんの和と協力がなければ成果は期待し得ないのであります。

昭和40年も明るい希望の火をかかげて市政の進展に努力いたしたいと考えておりますので市民の皆さんの格段の御協力をお願い申し上げて市政施行13年の年頭の挨拶といたします。

### センサスで伸る農業わく笑顔 農業センサス 入選標語

入選1席 名古屋市 九井 喜代子

40年2月1日 全国一斉調査ご協力下さい